

校 長 挨 拶

校長 藤原 淳一



宮古恵風支援学校は、知的障がいと肢体不自由の子どもたちのための学校で、小学部・中学部・高等部があります。

昭和 46 年に「はまゆり学園（令和 3 年度末に閉園）」に入所する児童生徒の教育を担うために開設された崎山小学校、崎山中学校はまゆり分校を前身として、養護学校教育義務制施行の昭和 54 年に宮古市立はまゆり養護学校として開校したときから歩みを始めました。平成 21 年 4 月に特殊教育から特別支援教育への制度移行を機に現在の校名となり、平成 30 年には創立 40 周年を迎え、今日に至っています。

三陸の中心都市である岩手県宮古市の北部、崎山（さきやま）地区に位置し、近くには、三陸復興国立公園にある景勝地の浄土ヶ浜、本州最東端に位置する鮎ヶ崎灯台、国指定史跡の崎山貝塚などがあり、森、山、海といった豊かな自然や、歴史・文化に恵まれた環境の中にあります。

「**明るく 強く 豊かな心**」の校訓のもと、今年度は小学部 19 名、中学部 11 名、高等部 36 名、計 66 名の子どもたちが、明るく元気に学校生活を送っています。

本校は、地域の小学校及び中学校との交流籍を活用した交流及び共同学習を積極的に推進しています。また、崎山小学校、崎山中学校、宮古水産高等学校との学校間交流も特色の一つです。東日本大震災津波の際には、全国の皆様から多くの心温まるご支援をいただきました。感謝の気持ちをもちながら、防災・復興教育に取り組むとともに、地域文化を学び、地域に貢献できる学校づくりを推進しています。地域産業の体験学習、鮭稚魚放流壮行会への参加、海岸清掃、宮古駅へのプランター設置など、地域と関わる様々な取り組みを行いながら、地域に根差した教育活動の充実を図っています。また、地域の特別支援教育のセンター的機能を担う学校として、宮古圏域の特別支援教育の発展に努めています。今後も地域の方々や関係機関の皆様からのご理解とご支援をいただきながら、連携をさらに深め、本校の使命を果たすべく教育活動の充実に努めて参ります。

今年度も学校ホームページでは、子どもたちの笑顔や元気いっぱいな活動の様子を発信してまいりますので、これからも本校の活動の様子をご覧いただき、引き続き応援をお願いいたします。